

新チャレンジ章「アウトドアチャレンジャー」

実施の手引き

I. 新チャレンジ章

・はじめに

カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」など 5 つの分野で全 40 種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進級課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者やご家族一緒になって取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業とのタイアップによるバッジが数量限定で加わるようになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。この新チャレンジ章は、カブブック「チャレンジ章」には載っていません。ワークブックや本紙「実施の手引き」に、取得するための細目や活動のヒントを掲載していきます。

・アウトドアチャレンジャーとは

「野外活動を通じて子どもたちの生きる力を育てること」をミッションの 1 つに掲げるモンベル社とともに、野外での遊びをテーマとした新たな章を作りました。



挑戦する人を応援し続ける同社と、子どもたちが自然のなかで自由に遊ぶことの大切さや探求心を養うことを目指します。自然の中のあらゆるものを活用して、自分たちの遊びや活動プログラムを考えましょう。

野外にある色々な道具や自分の身体を使ってどんな遊びができるでしょうか。友達と相談し、力を合わせ楽しい遊びを考えてください。

Ⅱ. プログラムの導入

・年間および月間プログラムへ

プログラムとして実施するため、新チャレンジ章の取得を年間プログラムへ反映、また月間プログラムへ落とし込む作業が必要になります。

類似するテーマの隊活動または組での活動として、また特別隊集会としての取り組みもひとつの方法ですが、家庭で保護者と一緒になって課題（細目）に取り組むことも可能です。プログラムの取り組み方法は、隊として決めてください。

・ワークブックの活用方法

アウトドアチャレンジャーでは、野遊びをキーワードに、自然をまるごと遊び道具として、考えるきっかけとなるよう細目を設定しています。

ワークブックにちらばっている、石や木の枝、池などを組み合わせて、どんな遊びができるか考えてみましょう。野外ではいろんなヒントが見つかります。

このプログラムでは、与えられたものだけでなく、自分で遊びを作り出す楽しみを知り、さまざまな環境の中で活動ができるようになることを目標としています。



【プログラムと細目の関連性】

1. 野外での遊びや隊の活動に必要なものを考えて、記録する。

⇒遊びや活動に行くまでの準備を考えてみましょう。自分で準備ができるかな。

2. ひとりまたは仲間と一緒にできる野遊びを考えて、実践する。

⇒ワークブックも参考にして、遊びをたくさん考えてみましょう。

3. 仲間や家族と、自分の家以外で 1 泊し、外の様子や自分の気持ちを話す。

⇒宿舎泊だったり、キャンプ泊だったり、その年代で感じることは毎年大きく変わります。その時の気持ちをみんなで共有してみましょう。

4. 活動場所から安全に帰る作戦を話し合い、その内容を発表する。

⇒活動の楽しさは、安心して遊ぶことができていますからです。近場や遠方では安全の取り方も変わります。どうやって自宅に帰るか考えよう。

・ワークブックへのサイン

細目やプログラムに挑戦したら、ワークブックへサインをします。組や隊の集会であれば隊指導者やデンリーダーが、自宅で細目に挑戦したら、保護者の方が日付と名前を記入します。

一つひとつの細目がスカウトのスキルアップにつながっていますので、頑張りをほめてあげてください。

・組集会での取り組み

活動に行く準備を考えたり、ヒント探しに街にでたり、プログラムの一部は組集会でも実施することができます。まとめの隊集会へとうまくつなげてください。

・家庭での取り組み

普段ご家族が活動にいくためどんな準備をするのか一緒に準備をしたり、身の回りにはどんな道具があるか一緒に話をしたりと、スカウトとして野外に出ていくための準備をしてみましょう。

Ⅲ. バッジの授与

・授与のタイミング

スカウトがすべての細目を履修し、「アウトドアチャレンジ宣言」をワークブックに書き入れたら、隊長の承認によりチャレンジは完了します。

バッジは、手元にあるからとその場で配布せず、通常のチャレンジ章と同じく、隊活動や団行事でのセレモニーや各種記章授与式など、他部門を含めたスカウトや保護者の方が多くいる場において、取り組みを称えて授与してあげてください。

授与するタイミングにおいて、この新チャレンジ章に挑戦することをひとつのきっかけとして、他のチャレンジ章やひとつ上の進級を目指して、家庭や組・隊集会での活動につなげられるよう、隊指導者からの声かけをお願いします。

・制服への着用

企業協力によりバッジ作成をしているため、他とカラーデザインが異なりますが、これはチャレンジ章の一つです。初めて取得するスカウトは制服右袖の組別章の下に、5個以上取得しているスカウトはタスキに着用することができます。他のバッジと同様に、ひとつの取り組みの成果として着用してください。

アウトドアチャレンジャーを着用するということは、野外での野遊びを楽しむことのできるスカウトの証です。いろんな道具が活動に役立つこと、活動のため事前の準備と安全計画が大切だということを、考え行動に移す機会としてください。

・使ったワークブックは

アウトドアチャレンジャー宣言を書き入れたワークブックは、スカウトの取り組みを示す大切な記録です。ボーイスカウトへと上進してからも自分自身で書いた「宣言」を振り返るためにも、カブブック「チャレンジ章」に貼ったり、挟み込んだりと大切に保管するようにご指導ください。

IV. 記録と報告

・活動の記録と日本連盟への報告

活動当日の様子は、写真での記録をお願いします。スマートフォンに付属するカメラ機能の画素数で十分です。Webサイトに記載する活動報告の案内に従い、以下の項目と活動の様子が分かる写真を添えて、日本連盟までご報告ください。

注意：団内で撮影した写真は、日本連盟および協力企業がプログラム開発および広報として利用する場合がありますので、団内とご家族の許諾確認をお願いします。

本プログラムは企業とのタイアップによるものです。多くの皆さんに取り組んでいただき、その報告をすることで次年度へのつながり、また新たなテーマへとつながっていきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【報告いただく内容】

- ☐実施日時 ☐月間プログラムのテーマ ☐展開方法 ☐実施回数 ☐実施場所
☐概要・展開 ☐バッジ取得スカウト数 ☐スカウト宣言 ☐活動時の写真（ご家族の許諾確認含む）
☐実施時の気づき ☐新チャレンジ章へのご意見 など